

自動車整備科

工作実習

| | | | | | | | | | | | |
|------|---------------------|-----|----|------|---|----|-----------------|-----|----|----|---|
| 対象 | 1年次 | 開講期 | 前期 | 区分 | 必 | 種別 | 実習+実技 | 時間数 | 23 | 単位 | 0 |
| 担当教員 | 和田浩、大瀧昇利、村木亮治、非常勤講師 | | | 実務経験 | 有 | 職種 | 一級自動車整備士、自動車整備士 | | | | |

授業概要

金属加工を通して、その性質や加工方法を学ぶ。

到達目標

金属材料の基礎知識、加工する工具の取扱いや安全作業について学び、4Sの必要性を理解し、率先して周りとのコミュニケーションを通じて寸法通りに正確に加工することが出来る。また、それらを主体的に行うことが出来ることを目標とする。

授業方法

自動車のみならず金属をはじめとする加工技術を養うものであり、金属加工、安全作業、4Sを身につけ基本である金属の切断・研磨を行うことで、安全作業やコミュニケーション、チームワークを重視しながら4Sの実施が出来るようになる。

成績評価方法

制作物を総合的に評価（100%）

履修上の注意

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な作業を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。また出席確認時に遅刻の場合4時間の欠席となる。

教科書教材

適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。／実習教材など。

| 回数 | 授業計画 |
|-----|--|
| 第1回 | 金属工作作業、工具使用方法（グループワーク）：加工で気を付けること、取扱い、危険性を学び、一人で作業が行うことが出来るようになる |
| 第2回 | 金属工作作業①（グループワーク）：弓のこ、やすり、ボール盤を使用し、一人で作業が行うことが出来るようになる |
| 第3回 | 金属工作作業②（グループワーク）：タップ、ダイス、ポンチ、仕上げを一人で作業が行うことが出来るようになる |